

Topic

追大と大阪府中央卸売市場との共同開発、「追手井」

本学院では2012年に大阪府中央卸売市場と事業連携に関する覚書を締結し、ともに地域の活性化のために活動を行っている。本学地域文化創造機構の研究者で、経営学部村上喜郁准教授のゼミの学生が、事業連携の環として



同市場と共同で開発を進めていた「追手井(おうちどん)」が完成した。この「追手井プロジェクト」は、野菜や魚離れが進む若者の食生活改善のために、おいしく効率よく野菜・魚を摂取できるメニューの開発を目的とするものだ。7月と8月のオープンキャンペーンで試食会を開催し、来場者に提供した。村上ゼミでは今後もプロジェクトを継続させていく予定で、今後の展開が楽しみだ。

Topic

茨木フェスティバルに本学の学生が協力

7月27日(土)・28日(日)に茨木市最大級のイベント、「茨木フェスティバル」が開催された。毎年、本学から多くの学生が参加しフェスティバルを盛り上げてきたが、今年も追手門学院大学将軍山祭実行委員会、体育祭実行委員会、児童研究会、経営学部村上喜郁ゼミなどの団体から、約300名の学生が参加！イベント提供や運営協力などを行った。



ブースやステージでのイベントやゲームなど、子どもたちに大人気の追大生たち。天候にも恵まれ、2日間のフェスティバルは大盛況のうちに幕を閉じた。

Topic

東日本大震災の被災地支援ボランティアに本学学生が参加

本学学生グループが東北地方の被災地支援ボランティアに参加した。地域文化創造機構が実施する「陸前高田うごく七夕まつり・川原祭組支援プロジェクト」では、学生20名他大学学生も含むが、陸前高田市のうごく七夕祭に参加する川原祭組の山車の飾り付けや山車の牽引などの手伝いを行った。支援は昨年引き続き今回が2回目、8月6日に前夜祭、7日に本祭が行われた。また、テレビ大阪も取材に訪れ、同局の夕刊チャンネルで活動の様子が紹介された。

また、本学は2011年5月に東北学院大学が立ち上げた「大学間連携災害ボランティアネットワーク」に2012年7月に加盟し、大阪府下では最初の加盟校として活動を始めた。昨年引き続き今年も、学生5名と職員1名が参加し、8月10日より宮城県の山元町で農作業を通じての復興支援活動を行った。

Event

卒業生が母校に集う日 ホームカミングデー 11月4日に開催

ホームカミングデーは、大学の卒業生が母校に里帰りの日。今年も将軍山祭が行われている11月4日(月・休日)に開催する。大学50周年を3年後(2016年)に控え、多くの卒業生が参加し、盛況な一日となる。

Event

キャンドルナイト2013 プロジェクト始動

今年で4年目となる本学学生と職員による共同企画「キャンドルナイト」。昨年の来場者数は約600名、今年は12月18日(水)の開催を予定している。テーマの「color」はスタッフや来場者それぞれの個性(カラー)をキャンドルで表現したいという想いが込められている。プログラムも開設しており、詳しいイベントの情報が見られる。



学生スタッフブログ ▶ http://www.act.otemon.ac.jp/user_options/100198

Sports

セレッソ大阪 柿谷選手が日本代表で大活躍

追手門学院大手前中高等学校で中学3年間と高校1年までを過ごしたセレッソ大阪の選手である柿谷曜一朗さんが、日本代表入りを果たした。柿谷選手は、7月20日〜28日に韓国で開催された東アジアカップで3得点を挙げ、日本の東アジアカップ初優勝の原動力となった。

人権について考えよう

スクールカースト

副学長 水藤龍彦
(基礎教育機構教授)

最近「スクール(教室内)カースト」というものが、学校内にあるらしい。少し前にそれをタイトルにした本が出ていることは知っていました。あるきっかけがあった、それを読んでいるところですが、要するにクラスごとに基本で三層程度から成る階層社会が形成されており、クラスの皆が、自分の地位を意識して行動しているというのです。また、もしもどのグループにも属さないと、他の全員から(下)に見られるハメに陥るのです。

あきらかに構造的な「いじめ」ではないかと言えし、「いじめ」はやはり「学校文化」の一部なのかと慨嘆しそうになります。

しかし、インタビュを受ける生徒は必ずこう言います。「いじめじゃないけれど...」。

これを、どう考えるべきなのでしょう。自己欺瞞的な否定にすぎないのか、それとも「いじめ」と言い切れない理由があるのでしょうか。インタビュを受けている子どもが、その最中に、自分のしたことを振り返って「ひどいね、ゴメンナサイ」と言うケースが、この書物にはよく出てきます。「一定の時間が経過すると「いじめ」と等しいことだと認められるようですが、その「構造」の空気を吸っているあいだは、決して気がつくことがないのです。

その一方で、数十年(一)の中学、高校のクラスにも、当然ながらグループはあったし、その間に階層的な感じもあつたな...と思いつく人も多々います。そして友達に恵まれない「独立独行のひと」は当時もいました。かつての教室ではからは、一定リスペクトされていたように思われます。

もっと大きな違いは、現代の子どもたちは、それ「カースト」についての意識がきわめて高いということではないでしょうか。すっかり定着した「キャラ」についても同様の事情があるようです。

数年前から担当している日本語の授業で、書いてもらったものに、「こんな文章がありました。その筆者によれば、「自分は男子校だったが、そこでは会話のなかでツッコミを受けたとき、うまく返せない」と最底辺のランクを強いられる」というのです。そのとき「スクールカースト」というキーワードを改めて思い出しました。スクールカーストの関西バージョン？

村上春樹の新作を読んでいると、次のような言葉にぶつかりました。

「おれたちは皆それぞれ自由に手にしている」。小説の文脈の中では、きわめて皮肉な言葉なのですが、あえて文脈を捨てて読んでほしい。私たちに必要なのはカーストではなく自由のほうです。

Club & Circle

団体名	開催時期	大会名等	実績
体育会団体	チアリーディング部	3月17日 第19回 西日本チアリーディング選手権大会	大学競技部門 10チーム中4位
	日本拳法部	7月15日 第22回 関西チアリーディング選手権大会	大学競技部門 10チーム中7位
	ハンドボール部	3月17日 第46回 茨木市民体育大会	式段以上の部 優勝
	女子バスケットボール部	5月19日 第21回 春季大阪府民体育大会	成年男子式段の部 準優勝
文化会団体	陸上競技部	4月6日~5月19日 関西学生ハンドボール春季リーグ戦	男子3部 2位
	アメリカ民謡研究部	春季 平成25年度 関西女子学生バスケットボールリーグ戦	3部 残留決定
	吹奏楽団	6月9日 第45回 茨木市民陸上競技大会	一般男子三段跳 2位
		5月18日 関西学生フォークソング連盟 キャンパスアフォーテナーコンサートオーデション	2位・4位・6位・7位
		8月12日 第52回 大阪府吹奏楽コンクール	大学の部 銅賞
		— 全日本学生吹奏楽連盟	2012年度 活動アワード受賞

学生団体 優秀実績一覧 [2月~8月]

団体名	開催時期	大会名等	実績
体育会団体	空手道部	7月14日 第29回 泉北空手道選手権大会	形競技 一般男子 3位
	剣道部	4月21日 第52回 大阪学生剣道選手権大会	男子 2位
	硬式野球部	4月6日~5月31日 阪神大学野球連盟 春季リーグ戦	2部東リーグ 2位 優秀放送賞 敢闘賞選出(1名) ベストナイン選出(2名)
文化会団体	男子サッカー部	4月14日~6月30日 2013年度 第91回 関西学生サッカーリーグ	前期2部 7位
	少林寺拳法部	5月26日 大阪府民大会	男女有段組演武 3位
	柔道部	7月15日 第51回 関西学生大会	男子二段以上組演武 1位 女子二段以上組演武 1位
	漕艇部	9月1日 関西学生柔道 体重別選手権大会	60kg級 16位
	5月2日~5月5日 第66回 朝日レガッタ	男子ダブルスカル 準決勝進出	
	6月8日~9日 関西学生新人レガッタ	新人ナックルフォア 第4位	
	6月 国民体育大会 奈良県予選会	女子シングルスカル 第1位	

BOOK INTRODUCTION

追手門学院大学 教員の著書

【五十音順】



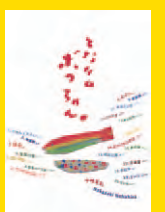
On multidimensional inverse scattering in time-dependent electric fields
石田 敦英(経済学部) 共著
Inverse Problems 29, 2013
2013年8月 / 国際誌



日本と世界の職業教育
佐々木 英一 共編
(社会学部)
2013年5月 / 法律文化社



英語心理動詞と非対格動詞の習得はなぜ難しいのか
動詞の項構造の習得をめくって
佐藤 恭子 著(国際教育学部)
2013年1月 / 漢水社



とんりのボクちゃん。
中崎 宣弘 絵・文
(地域文化創造機構)
2013年5月 / 神戸新聞総合出版センター



復興ツーリズム 観光学からのメッセージ
橋本 裕之 共著
(社会学部)
2013年3月 / 同文館出版



社会学的ディアポリズム リスク社会の個人
三上 剛史 著
(社会学部)
2013年4月 / 学文社



日本の近代化と障害者
李 義昭 著
(経済学部)
2013年2月 / 晃洋書房